

長岡市の地域密着型サービス 等について

平成29年3月30日

長岡市 福祉保健部 介護保険課

長岡市の状況

■総人口:	275,361人
■高齢者人口(65歳以上):	79,758人
うち、75歳以上人口:	41,382人
■高齢化率:	28.96%
■要介護・要支援認定者数:	14,216人
うち、要支援認定者数:	2,548人
■地域包括支援センター数:	11か所
■第6期介護保険料:	6,108円

平成28年4月1日(認定者数は3月末)

■認知症自立度Ⅱ以上の方:	9,869人
(要支援・要介護認定者)	

平成28年3月末

地域密着型サービス事業所数

サービス区分	事業所数	定員
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3	
夜間対応型訪問介護	1	
地域密着型通所介護	13	189
認知症対応型通所介護	23	187
小規模多機能型居宅介護	16	409
認知症対応型共同生活介護	34	508
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	58
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	11	273
看護小規模多機能型居宅介護	1	25
合計	104	1,649

地域密着型サービス事業所の整備について

サービス区分	整備状況
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	H24 2事業所(0) → H28 3事業所(1)
小規模多機能型居宅介護	H20 7事業所(4) → H28 16事業所(9)
認知症対応型共同生活介護	H20 15事業所(13) → H28 34事業所(30)
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	H20 3事業所(1) → H28 11事業所(6)
看護小規模多機能型居宅介護	H24 1事業所(0) → H28 1事業所(0)

()の数字は、社会福祉法人長岡福祉協会以外の事業所数

他法人も地域密着型サービスに参入

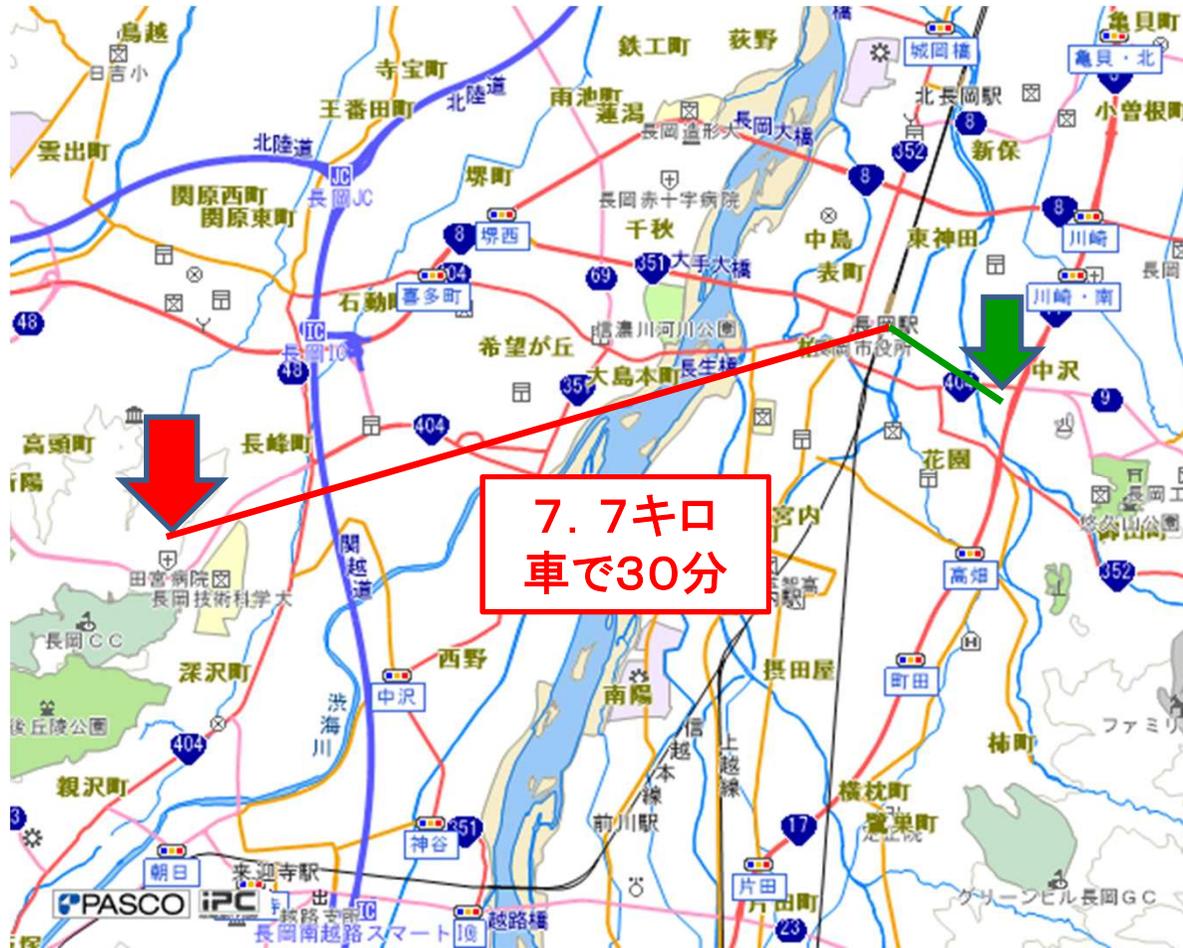
地域密着型サービスに関し市が協力した事業

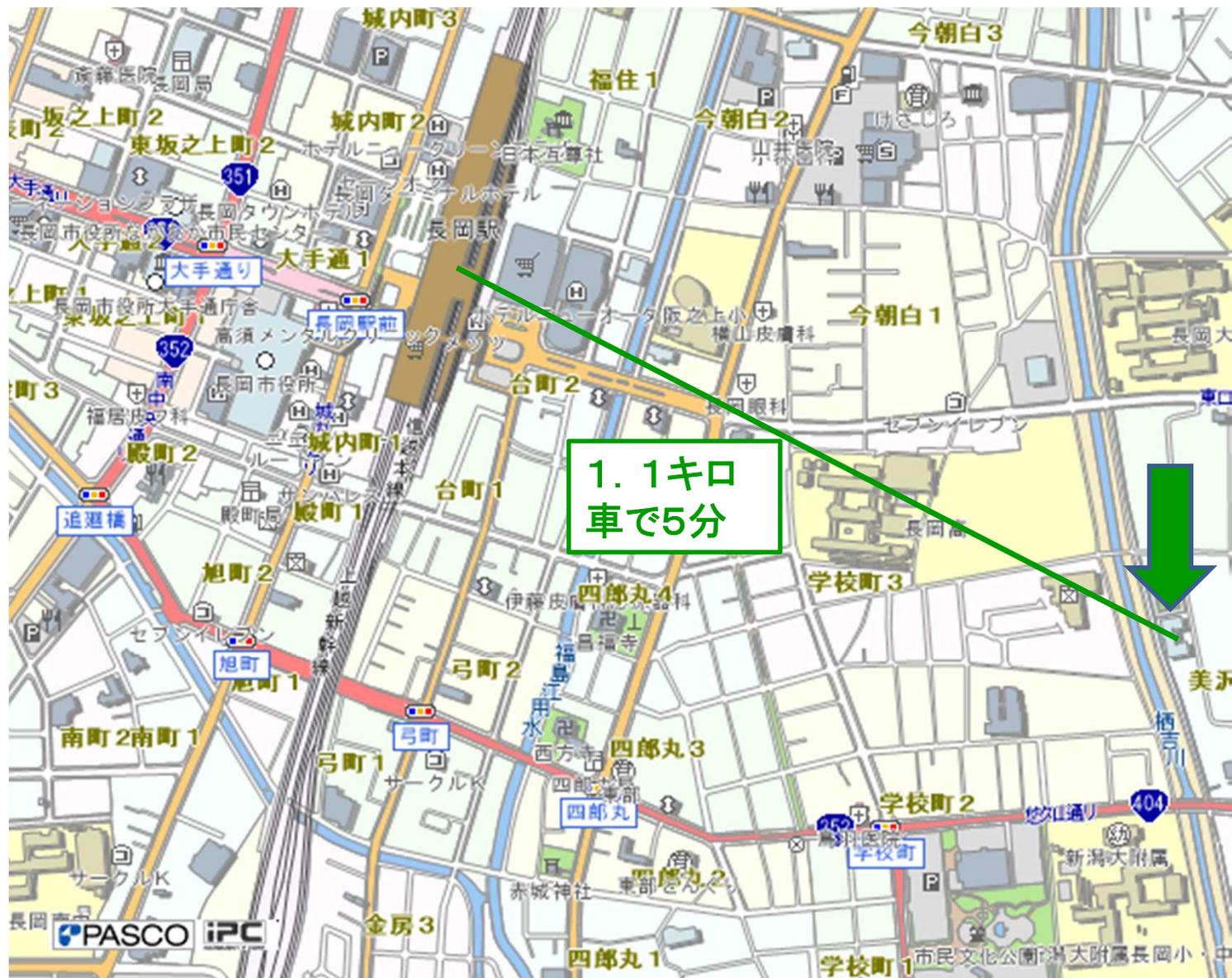
- 平成17年1月～平成18年12月
介護保険施設に係る構造改革特別区域計画
（地域社会で暮らしを再構築する長岡市サテライト型居住施設推進特区）
- 支所地域での地域密着型サービスの普及

地域社会で暮らしを再構築する 長岡市サテライト型居住施設推進特区

申請日	平成17年1月21日
認定日	平成17年3月28日
内容	特別養護老人ホームの機能を地域に分散するため、本体施設との密接な連携を確保しながらサテライト型居住施設を運営するとともに、これと一体的に小規模多機能型拠点施設(短期入所生活介護や通所介護、地域の高齢者等への配食サービス等)を街の中に整備するもの
整備地	長岡市美沢4丁目
サービス	・サテライト型特養(15名) ・小規模多機能型居宅介護(25名) ・ショートステイ(3名)
事業開始	平成18年3月

こぶし園から美沢へ





1.1キロ
車で5分

支所地域での地域密着型サービスの普及

小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型福祉施設入所者生活介護の3サービスを一体整備。

(栃尾地域1か所、和島地域1か所)

第5期介護保険事業計画(整備計画)に計上し、3サービス一体整備を条件として公募。

各地区の中心地にある市所有の土地を提供
(有償)

支所地域での地域密着型サービスの普及



支所地域での地域密着型サービスの普及



支所地域での地域密着型サービスの普及



支所地域での地域密着型サービスの普及

メリット(1)

利用者の状態像に応じたサービスを提供することができる。

小規模多機能
型居宅介護

+

認知症対応型
共同生活介護

+

地域密着型介
護福祉施設入
所者生活介護

利用者の状態変化に対応したサービス提供が可能

支所地域での地域密着型サービスの普及

メリット(2)

1 サービスでは経営が不安定。

3 サービス一体型とすることで、経営が安定する。

小規模多機能
型居宅介護

+

認知症対応型
共同生活介護

+

地域密着型介
護福祉施設入
所者生活介護

地域密着型サービスに関する取組

- 運営推進会議への出席
（市職員及び地域包括支援センター）
- 管理者研修会の開催
- 実地指導、集団指導の実施

長岡市の地域包括ケア（概要）

もともと、個々には進んだ取り組みが…

- **医療** …基幹3総合病院による**二次救急の輪番制**
⇒地域の救急医療を地域で完結
- **介護** …**サテライト型特養**を全国に先駆けてスタート(構造改革特区)
制度化前から**24時間365日の訪問介護サービス**を実施
- **介護予防** …介護予防教室のメニュー・回数とも全国トップクラス
介護予防サークルが約300団体(約5,500人が登録)
- **生活支援** …コミセン・支所単位での地域福祉活動が充実

長岡市の地域包括ケア推進イメージ

• 医療

• 介護

まずはここから！

⇒医療・介護等の連携推進
在宅医療の推進

• 介護予防

• 生活支援

新しい総合事業等の活用！

⇒ただし今はH29.4の移行に注力

• 住まい

現時点では特別な取り組みなし

平成26年度の主な取り組み

県の**在宅医療連携モデル事業**(平成26～27年度)を活用して、以下の事業を実施。

1. 地域包括ケア推進協議会の設置
2. 在宅ケアに関する実態調査
3. タブレット活用モデル事業
4. 多職種連携に向けた勉強会
5. 先進自治体の合同視察
6. 多職種が連携した地域ケア会議

平成27～28年度の新たな取り組み

【主な項目】

1. 在宅医療の環境づくりに関する検討
2. 地域別の多職種交流会
3. 訪問看護ステーションの連携推進
4. フェニックスネット（ICT情報連携システム）の推進

地域包括ケア推進協議会の設置

前年度に開催した懇談会の枠組みをベースに、県内でいち早く「**地域包括ケア推進協議会**」を設置。(年4回の開催)

【協議会の構成】

- ・長岡市医師会(医師会長が協議会長)
- ・長岡歯科医師会
- ・長岡市薬剤師会
- ・長岡地域救急懇談会
- ・三島病院認知症疾患医療センター
- ・長岡地域介護支援専門員協議会
- ・県栄養士会長岡支部
- ・県歯科衛生士会中越ブロック
- ・県訪問看護ステーション協議会(※)
- ・県理学療法士会
- ・県作業療法士会長岡支部
- ・高齢者総合ケアセンターこぶし園
- ・長岡三古老人福祉会
- ・長岡市社会福祉協議会
- ・県長岡地域振興局

《長岡市》

- ・福祉保健部長
- ・福祉総務課長
- ・介護保険課長
- ・長寿はつらつ課長
- ・健康課長
- ・住宅施設課長

(事務局:長寿はつらつ課)

※現在は長岡市訪問看護ステーション協議会。28年度からは言語聴覚士会、社会福祉士会も参加。

【26年度～】

多職種が連携した地域ケア会議

専門多職種（医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士等）とケアマネジャー等が協働でケアプランを検討する地域ケア会議を開始。

【地域ケア会議のねらい】

- ・今より元氣になっていただく
- ・会議参加者の実力アップ
- ・地域課題がわかり対応策が見える

- ・平成26年度はモデル的に**包括なかじま圏域**のケース中心
- ・1ケース30分とし、1回の会議で最大5ケースを検討
- ・計5回の開催（7月、9月、11月、1月、3月の第3水曜日）
- ・平成27年度からは毎月開催し、全市のケースに拡大

タブレット活用モデル事業

栃尾・小国地域において、タブレットを活用した情報共有により、在宅医療・介護を多職種で支えるモデル事業を実施。

- 実施内容

高齢者宅を訪問する主治医、看護師、ヘルパー、ケアマネジャーなどの**関係者がタブレットを活用して情報を共有**することで、連携を強化し、診療や在宅ケアに活かす取り組みを試行的に実施

- 対象者

医師の往診を受けており、訪問看護、訪問介護 等が入っている方
(栃尾地域20名、小国地域17名でスタート)

- 実施期間

平成26年度～27年度(2年間) ⇒ **フェニックスネット**に発展！

【27年度～】

フェニックスネットの推進

栃尾・小国地域でのモデル事業の成果を踏まえて、ICTを活用した情報連携システム「**フェニックスネット**」を市域全体に展開。

- 平成27年10月に長岡市医師会をはじめ医療・介護の関係団体と「**長岡在宅フェニックスネットワーク協議会**」を設立し、運用。

【協議会の構成団体】(今後も随時追加)

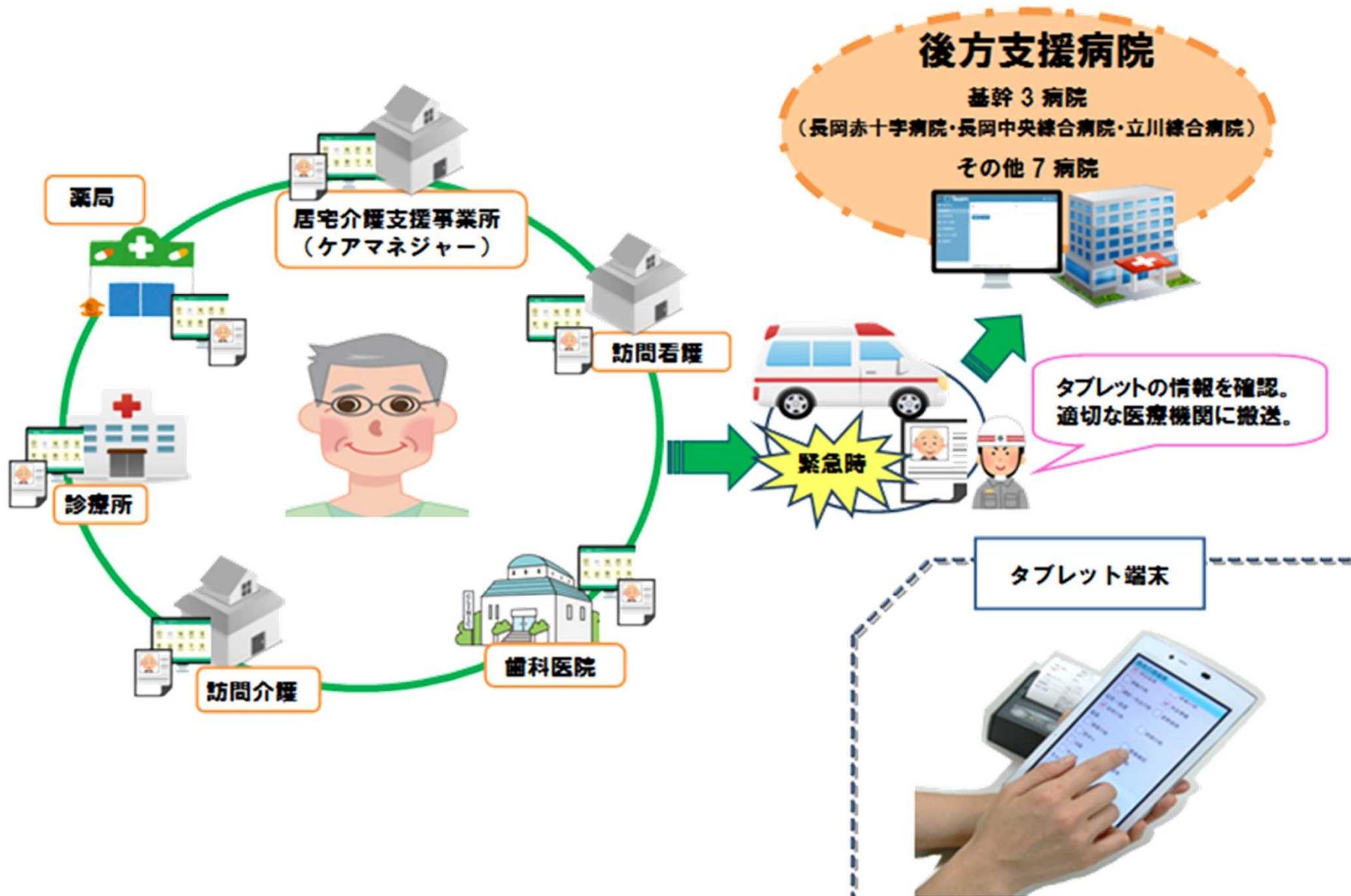
医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション協議会、
介護支援専門員協議会、市

【運用状況】(H28.11.15現在)

参加機関・事業所:86か所、登録患者:約1,200人(同意者)

- 平成28年11月からは、**救急隊も参加**し、救急搬送に活用。

フェニックスネットによる情報連携の仕組み



御清聴ありがとうございました。